



# 玉出はんなり亭 満員御礼



## 高座と一門トークショー



## 玉出はんなり亭 正面



←五代目師匠のまねき ちょうちん↑



五代目文枝の碑  
(大阪高津宮)



優勝



## 幕下優勝で十両昇進を 決めた一竜虎風閣

開席二十年節目の年  
文枝一門 バツカバツカと  
笑ひをとり うまい嘶で  
盛り上げまつせ!!



繁昌亭にて  
華やかな女流ウイーク



芸歴65年を超えた名人福団治師  
兄弟分の盃かわしている文福



## 六代文枝師、福団治師に囲まれる 三代目露の五郎師



繁昌亭での米朝師生誕百年公演のロビーに飾られた師匠の胸像と孫弟子の鞠輔さん



企画・演出：(有)文福アーツ・プロモーション  
「ふるさと新唐」文福一座 室7043-73-6663  
協力：(株)米朝事務所

## ○繁昌亭20年の節目の年

「天満天神繁昌亭」が、今年9月で丸20年を迎える。当時、上方落語協会の会長（三枝時代）の六代文枝、今は協会の特別顧問、四代小文枝、文珍は相談役、理事にも文福、文也、枝女太、慶枝、文華と一門も繁昌亭運営に力をそそぎ、仁智会長、米団治副会長を支えている。この一年、ユニークな企画もどんどん催される繁昌亭。さらに、開席八年目を迎える「新開地喜楽館」もよろしゅうお願ひ致します。

## ○玉出はんなり亭第一回大盛況

昨年3月で没後20年の五代目玉枝、昨春にはお好みさんも天に召され、西成区玉出の親父宅にも足が遠のくこともあり、一門の集いの場になればと文福が発案し、師匠ご夫妻と同居の次男智之氏と力を合わせ玉出本通り商店街さんの集会場の「玉出フォーラム」をお借りして、師匠の写真やまねきを飾り二ヶ月に一回のわりで地域寄席「玉出はんなり亭」を開催。世間さまから、上方らしい「はんなり」した芸風と評されたおやじらしい命名である。「こけらおとし」は五代目の実の孫の「小きん」「坊枝」「文福」と高座に上がり、「一門トーケンショ」では枝女太、あやめ、鹿えもん、結女花が出てにぎやかにもりあげた。玉出の町内会、師匠のご近所さんぐらいと思っていたら、自前に読売新聞さんが社会面で記事にして下さり、神戸や箕面、東大阪からとわざわざ足を運んで下さり、露の団四郎師が三代目露の五郎を襲名、先代の怪談噺や大

運んで下さり、大感激。いざれは「定席」をめざして、一門のたまり場となるよう、皆さんのご協力よろしくお願ひ致します。

## ○おたび寄席600回記念

今まで大阪の「田辺寄席」や神戸の「もとまち恋雅亭」など500回の会はあつたが、なんと毎月開催で600回を迎えた「おたび寄席」。今から52年程前、当時の落語、講談の若年集団「ぐるうぶ寄席あつめ」2020年に天に召された四代目旭堂南陵（当時南右）さんを中心に文太、雀三郎（当時米治）、文福、文喬、仁福、吉朝（故人）、米八（故人）らが各地で地域寄席を担当。文福は和歌山の橋本市で「紀の川寄席」、文喬は「明石寄席」、文太は「田辺寄席」など：当時の東西交流で江戸の「若手花形落語会」の方々と共に演。そのお方の中には現落語協会会長の柳家さん喬師、人間国宝五街道雲助師、今や大御所の鈴々舎馬桜師、入船亭扇遊師らすばらしい方々。時の流れを感じます。その「おたび寄席」は堺出身の四代目南陵師が担当され、堺市の「住吉宮御旅所」にちなんだ「おたび寄席」今も講談のお弟子達が受けつけ、昨年暮れの記念公演では枝女太、坊枝、文福がゲストとして出演。大いにもりあげました。

## ○襲名 悲喜「も」も

昨年、露の団四郎師が三代目露の五郎を襲名、先代の怪談噺や大

阪にわかなど受け継ぎ、今年も各地で披露興行。又ごこば師門下のちようば師が四代目桂米之助を襲名。三代目米之助師は人間国宝米朝師の兄弟子でユニークなのは、定年まで大阪市の交通局に勤めておられた。

戦後まもなく、我が師（五代目文枝）が交通局に入った時、「長谷川君、今上方落語界は風前の灯や君芸事好きやろ、わしと一緒に落語やろ」とさそつて頂いたおかげで今、我々一門の漸家が存在するのです。その師匠は55才まで交通局と落語の両輪を歩まれました

が、定年パーティーすごかったです。片や大阪市の職員、一方で米

朝師、春団治師、うちのおやじ、

枝雀師、三枝師、ざこば師、鶴瓶

師ら錚々たる顔ぶれ。この師匠は

本名の矢倉悦夫から「悦ちゃん師

匠」と多くの若手にしたわれ、長

屋のものしりの甚兵御さんを地で

いくお方で米朝師も「わからん事

あつたら悦ちゃんに聞きや」。その

師匠が東大阪若江岩田で昭和48

年、地域寄席の草分け「岩田寄

席」をはじめ米之助道場の門下生

としてべかこ師（現南光）、春若

師、米輔師、松葉師（没後七代目

松鶴）、米太郎師（故人）そして

文福がおせわになりました。先代

は27年前に極楽寄席名人会に旅立

たされましたがこの度の「ちようば

改め米之助襲名披露」を岩田寄席

の同人、文福がプロデュース、春

若師の協力も得てなつかしい東大

阪若江岩田での披露興行、先代の

アミリー達も地元の方々も大喜び。

## ○文也の分野

ひよつとして何者かの指令を受

けたのかと思うほど全国規模で熊

## ○まめだの無口なたぬき

今日は休みだ！やつた一嬉し。しかしやる事がいっぱいあります。まずいちもん新聞の縮め切りがあさつてなので今日書いてしまいたい。よし早起きして書くぞと5時に目覚ましを掛けたが2度寝3度寝で起きたのが8時すぎ、かぜが2、3週間治らないので病院にもいかねば、いきたくないが妻にきつく言われているので、なんとか耳鼻咽喉科へ、以外と空いていた。今年のカレンダー、手帳も買わねば、宝くじも買いたいが近くの売場は閉店になっていた。あーお腹も空いてきた。休みの日は早い。

それに最近猪も猿もぞくぞく里から街に出て来てないか。ひよつとして何か地球規模で動物達の一族蜂起が起ころる異変の予兆とちゃうか。そのうちこの星は「熊の惑星」になつてしまふぞ!! 私たち中高年も散歩だウォーキングだと郊外の里山をのんきに歩いてる場合やないで。熊や猪や猿やヘビやイタチやセアカゴケグモやヤブに潜むダニや空中のトンビに襲われても知らん。なので私は散歩・ウォーキングは、バンバン車の走る街中の幹線道路にしてます。排気ガスや交通事故のリスクと熊や猪に遭遇するリスクを較べたらはるかに熊の方がリスク高い。車の事故は保険金取れるけど熊は保険入つとらへんしな。だいたい世間もブーさんやくまモンを甘やかしてはる場合やないねん。何でもカワイイと言つてたらしまいに襲われるで。



交通費もさることながら東京での三泊もの宿泊代は痛い。以前、

東京の落語好きのKさんというご婦人が大阪に来られた時に「奥さん東京に来たらウチに寄つてね」と言つていたと妻はKさんに四日間のご自宅での滞在を頼んだ。單

身上京し世田谷区梅丘の閑静な住宅地のKさん宅から四日間、恵比寿の劇場に通つて帰阪した妻は

「ああ楽しかった、Kさんの家の人も皆ええ人やわ」と嬉しそうに言つた。私が「また寄つてね」とは言つてはつたけど四日はアカンやろう、社交辞令やで」と言うと

「また来てね、言つてはつた」と言つた。皆様、妻にはお気をつけ下さい。

園田競馬場で警備した帰り、夜8時頃、公園のベンチに座りひと

り落語の稽古をしていると、近所の誰かが通報したのである、目の前にパトカーが止まつた。中から若い女性の警察官が近付いて来て、「おじいちゃん」と喋りかけて来た。

（はあ？……おじいちゃん？……）

（おじいちゃん？……この警察官ワシの事、徘徊老人やと思うてんのかん？ひとりでお家に帰れなくなつちやつたのかなあ？）

（え？……この警察官ワシの事、徘徊老人やと思うてんのかん？ひとりでお家に帰れなくなつちやつたのかなあ？）

（ああ？……おじいちゃん？……）

最初はみとめたく無いもんねえ」「いや、あのね、違つて！」と私。

そうかあ……もうホンマの事言おう！「あのね、おまわりさん！実は、私は、落語家なんです。

今、落語の稽古をしてたんです。」「おじいちゃん……ウソついたらダメだよウソついたら警察に連れていかれるよ！」と、ニッコリ笑つて、私の手を引つぱつて行つた。

昔、こういうプレイをするお店に行つた事を思い出した（）。

「枝曾丸のつれもていこら」

一年の計は元旦にありという言葉を信じて毎年正月に願掛けをしては2月に忘れ、何もなしとげないまま年末を迎えるくりかえし。

今年こそと願掛けしたはずなのに、年も来ないまま2026年を迎えた。未来を変えるには、自分の行動しかないと頭でわかつていても言い訳だらけで行動が出きない自分が情けない。

その点うちの師匠はすばらしい。昨年は昭和百年で六回目の年男。自分の当たり年だとまわりに吹聴し自分の独演会をやるだけではあき足らず、当たり年だからと、呼ばれてもいい落語会に自分からゲストに立候補し出番を勝ち取る。願掛けだけじゃなく、まわりに迷惑を掛けまくつて自分の目標を貫き通す。本当に、素晴らしい師匠だ。

ただ修行の足りない私は、師匠には今年こそ大人しくして欲しいと願掛けしている。

（はあ？……おじいちゃん？……）

に出せる今年も励みます！

（）。戦火で苦しむ母国ウクライナの方々に勇気と希望をあたえました。入門二年間、負け起しな

三賞そして初優勝。まったくカベを感動した。新入幕から五場所連続二ヶタ

（十一勝四場所と十二勝）と連続

ダメだよウソついたら警察に連れていかれるよ！」と、ニッコリ笑つて、私の手を引つぱつて行つた。

昔、こういうプレイをするお店に行つた事を思い出した（）。

「枝曾丸のつれもていこら」

一年の計は元旦にありという言葉を信じて毎年正月に願掛けをしては2月に忘れ、何もなしとげないまま年末を迎えるくりかえし。

今年こそと願掛けしたはずなのに、年も来ないまま2026年を迎えた。未来を変えるには、自分の行動しかないと頭でわかつていても言い訳だらけで行動が出きない自分が情けない。

その点うちの師匠はすばらしい。昨年は昭和百年で六回目の年男。自分の当たり年だとまわりに吹聴し自分の独演会をやるだけではあき足らず、当たり年だからと、呼ばれてもいい落語会に自分からゲストに立候補し出番を勝ち取る。願掛けだけじゃなく、まわりに迷惑を掛けまくつて自分の目標を貫き通す。本当に、素晴らしい師匠だ。

ただ修行の足りない私は、師匠には今年こそ大人しくして欲しいと願掛けしている。

（はあ？……おじいちゃん？……）

（）。戦火で苦しむ母国ウクライナの方々に勇気と希望をあたえました。入門二年間、負け起しな三賞そして初優勝。まったくカベを感動した。新入幕から五場所連続二ヶタ（十一勝四場所と十二勝）と連続ダメだよウソついたら警察に連れていかれるよ！」と、ニッコリ笑つて、私の手を引つぱつて行つた。

## 編集後記

（）。戦火で苦しむ母国ウクライナの方々に勇気と希望をあたえました。入門二年間、負け起しな三賞そして初優勝。まったくカベを感動した。新入幕から五場所連続二ヶタ（十一勝四場所と十二勝）と連続ダメだよウソついたら警察に連れていかれるよ！」と、ニッコリ笑つて、私の手を引つぱつて行つた。

（）。戦火で苦しむ母国ウクライナの方々に勇気と希望をあたえました。入門二年間、負け起しな三賞そして初優勝。まったくカベを感動した。新入幕から五場所連続二ヶタ（十一勝四場所と十二勝）と連続ダメだよウソついたら警察に連れていかれるよ！」と、ニッコリ笑つて、私の手を引つぱつて行つた。